

富山県高岡市のワコーテック

20万円切 6軸力覚センサ好評

鈴木信人取締役東京営業所所長に聞く



ロボット作業の高度化には、高精度な力の制御が不可欠。力センサの専門メーカー・ワコーテック（富山県高岡市二塚3-22-5、☎0766-24-8011、岡田和廣社長）は、20万円以下の超低価格の力覚センサ「DynPick」を発売。各ロボットメーカーに採用されるなど好評だ。従来の半額以下を実現した力覚センサとは？同社の鈴木信人取締役東京営業所所長に聞いた。

ロボットの力の制御に最適

ロボットのモータメントを同時検出できる6軸力覚センサだ。静電容量の変化で変位を検出する静電容量式を採用。従来よりシンプルな原理で低コスト化を実現した。産業用ロボットに取り付けて力を制御でき、組み立て工程の部品同士の精密嵌合やバリ取り、研磨、押し当て検査などに使われることが多い。大きくて使えなかった。



ワコーテックの「DynPick」

それに対し、DynPickは2010年に35万円、11年には19万9000円で販売。これまでに常設を覆すような低価格で大ヒットした。さらに、ワコーテック独自のストッパー機構が、内蔵されていて壊れにくい。IP65の防水・防塵、CEマーキングなど産業用の要求スペックを満たし、内部に補正用マイコンを搭載していることも高く評価されている。——これからについて。

鈴木取締役 いまのラインアップは200N、500N、1000Nの3種類。比較的小型の産業用ロボット向けになっている。今後もっと大きなものや微細な力を検出できる高感度なセンサを開発し、ラインアップに加える予定だ。

また産業用ロボットでは協働ロボットが話題になっている。安全機能を充実させ、市場の拡大に対応したい。

◇どんな製品か？

鈴木取締役 DynPickは、Fx、Fy、Fzの3方向の力とMx、My、Mzの3方向

手口ロボットメーカーにはすでに納入済みで、企業や研究機関の評価用として注文が増えている。特徴は？

鈴木取締役 低価格が独自のストッパー機構が